

# PEANUTS™

**推奨：コミックからのイラストレーターデータ、  
ラインアート作成方法**

# オリジナルのストリップからポーズを抽出する

CONFIDENTIAL

ベクター化したいポーズが含まれている、  
元のストリップアート(コミック)を Photoshop で開きます。

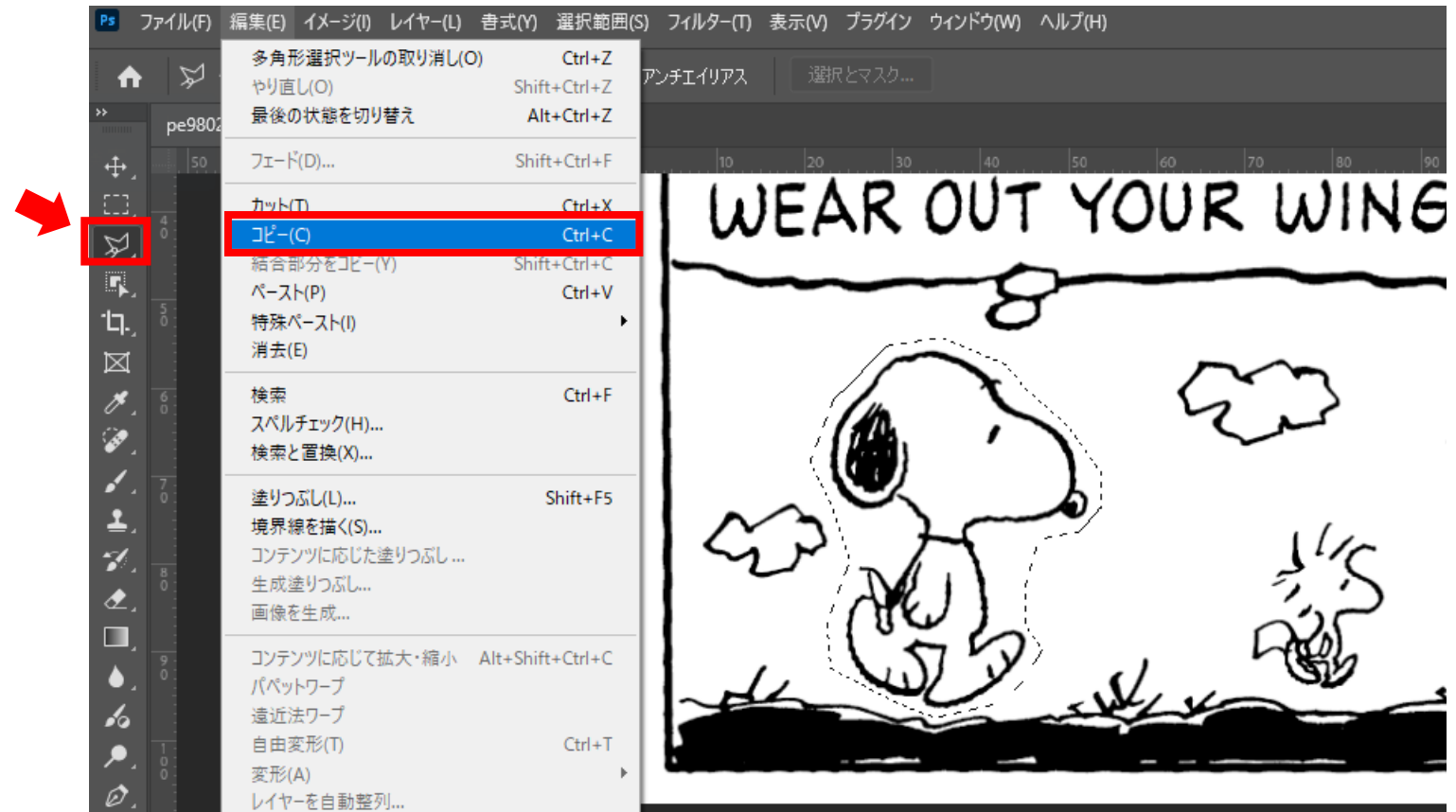


pe980206\_FAN.tif

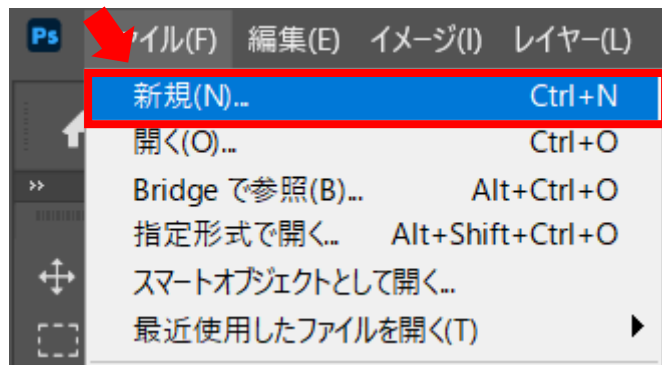


# 多角形選択ツールで、ポーズを選択し、コピーする

多角形選択ツールを使い、  
スヌーピーの周囲をクリックして  
形を選択します。  
最初のポイントに戻って  
選択範囲を閉じ、  
その後、ポーズをコピーします。

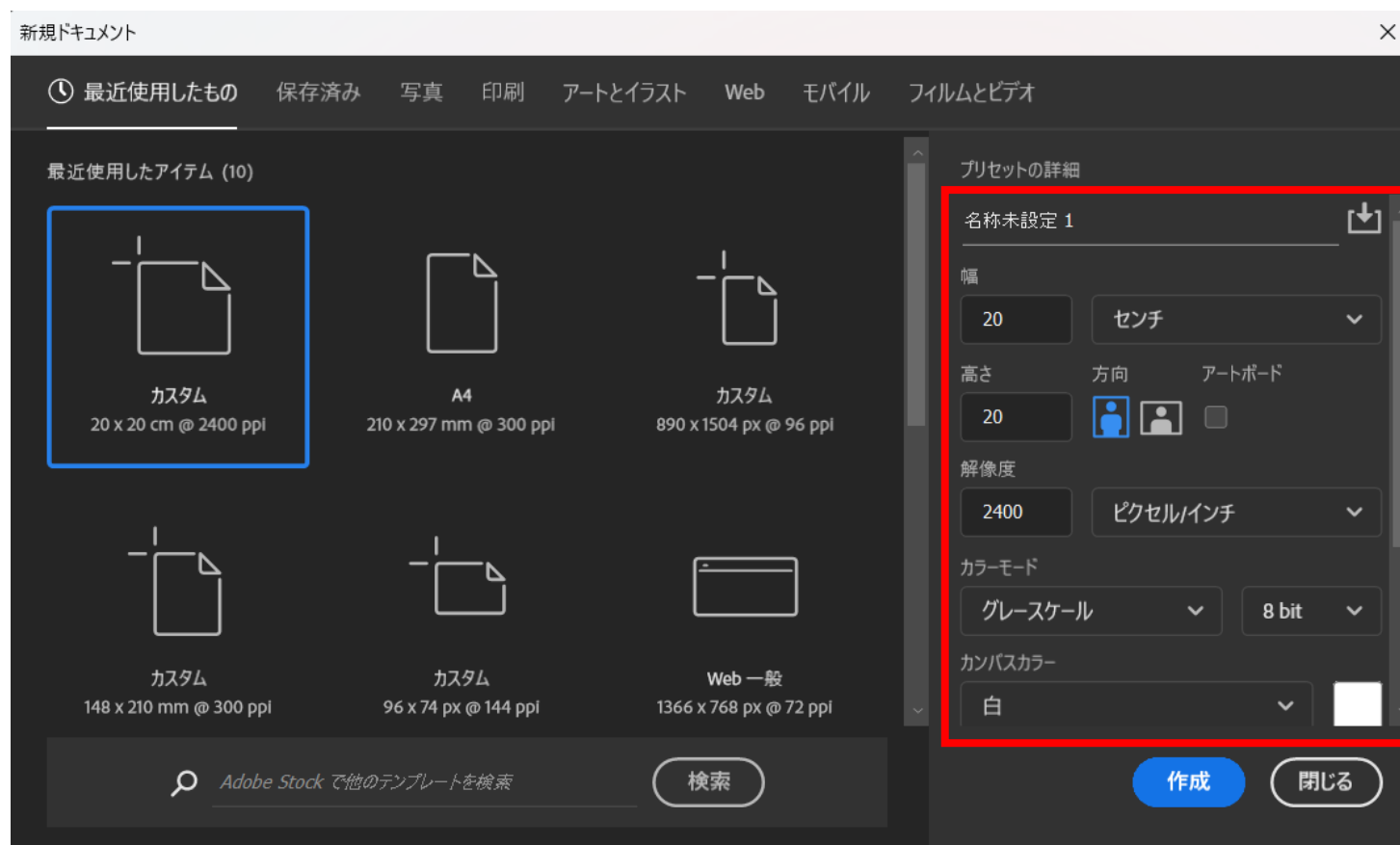


# 新規ファイルを作成： グレースケール + 2400ppi+ 20x20cm



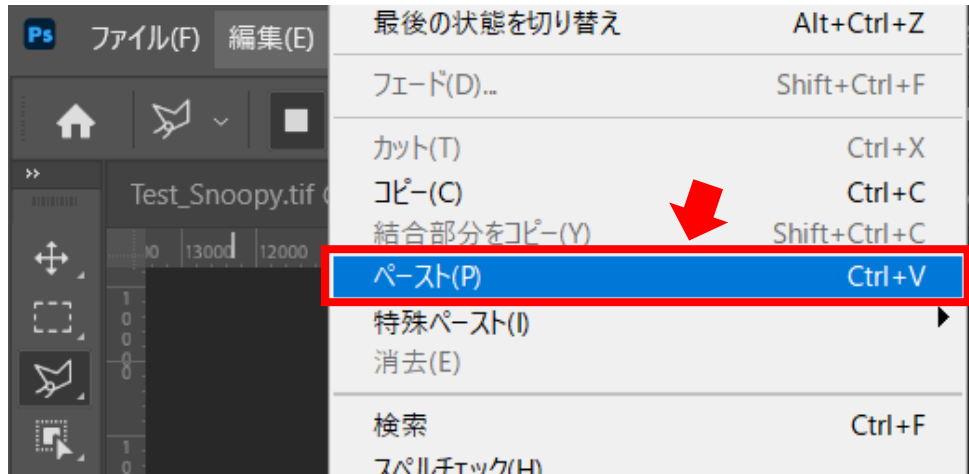
新規ドキュメントを作成します。  
カスタム設定で以下を指定します：

- ・ **サイズ：20× 20cm**
- ・ **解像度：2400 ピクセル/インチ**
- ・ **カラーモード：グレースケール**

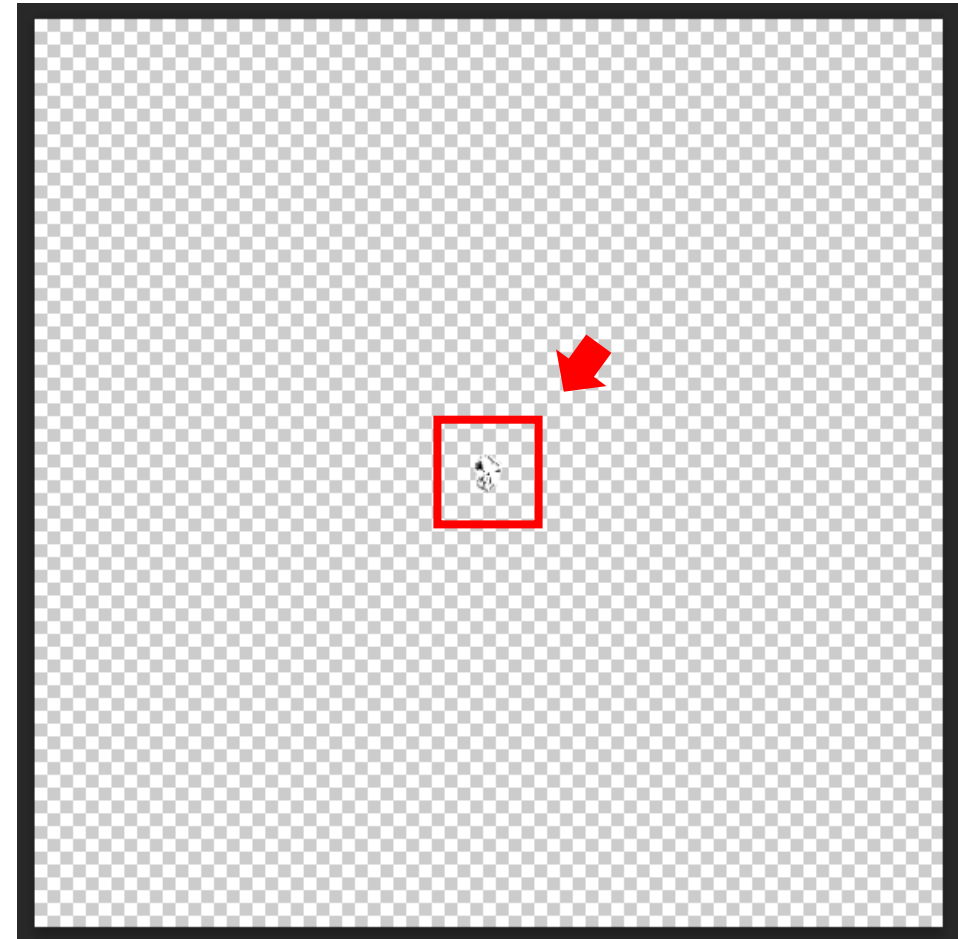


# 新規ドキュメントにポーズを貼り付ける

CONFIDENTIAL

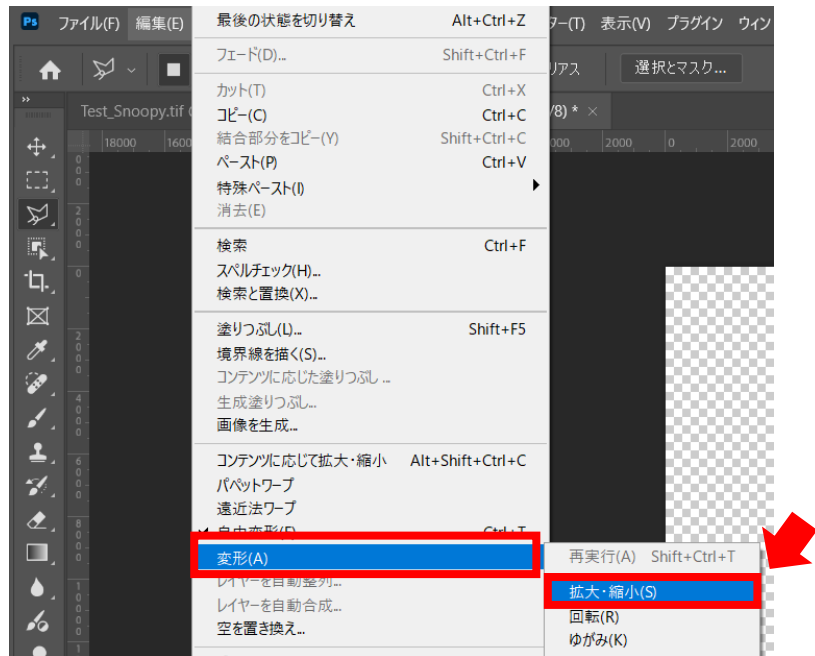


貼り付けたポーズは、2400ppi の  
大きなキャンバス上では、  
非常に小さく見えます。



# ポーズをキャンバスに合わせて拡大する

CONFIDENTIAL



サイズと配置を決定したらEnterキーを押します。  
ポーズが配置され、ピントが合います。

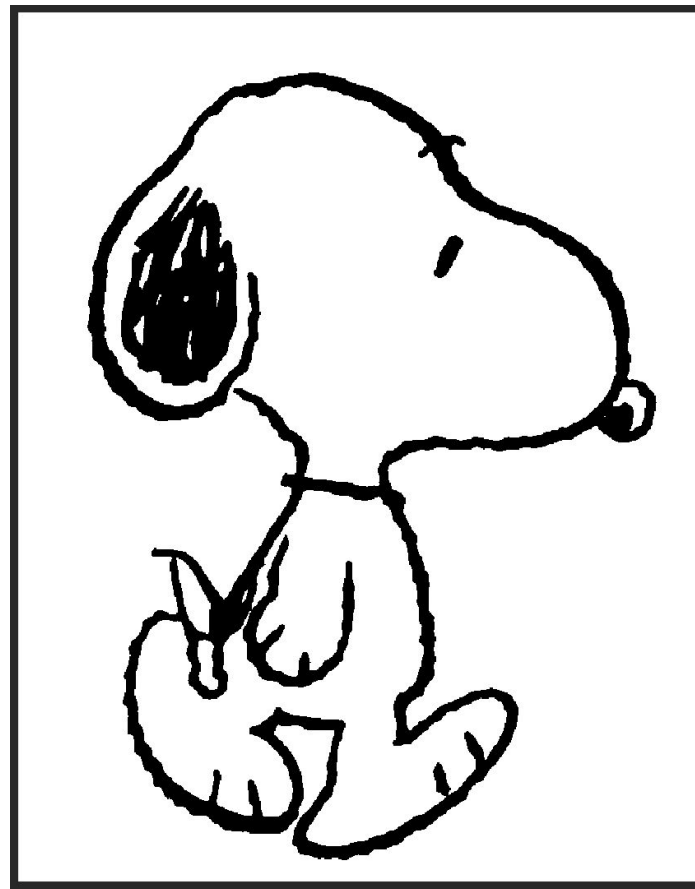
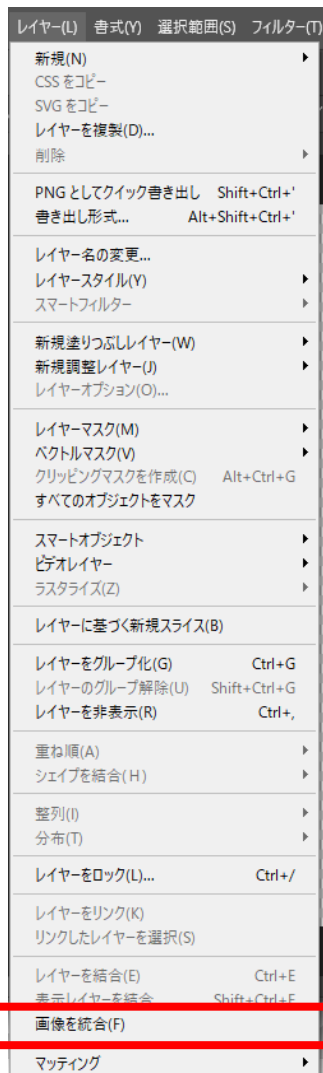


編集メニューから変形 > 拡大・縮小を選択します。青いハンドルをドラッグして、ポーズがキャンバスいっぱいになるように拡大します。

# 画像を統合（フラット化）する

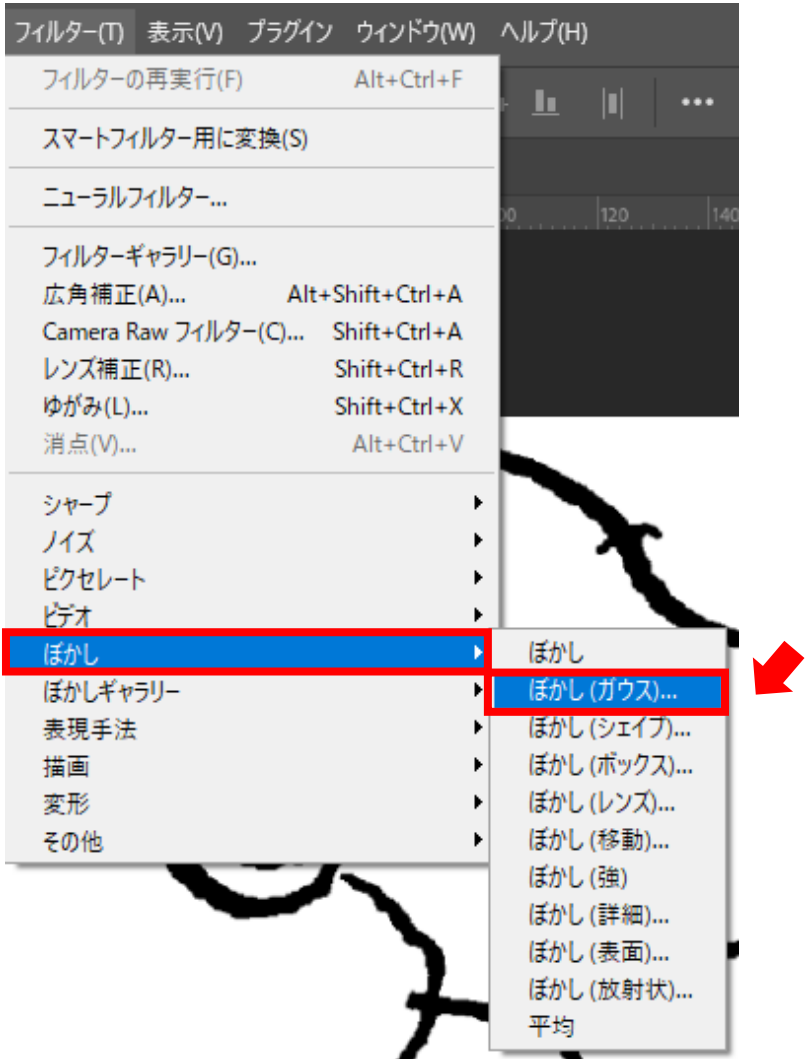
CONFIDENTIAL

レイヤーパネルから「画像を統合」を選択します。



# ぼかし(ガウス)で線画を滑らかにする

ぼかし(ガウス)を軽くかけることで、黒いラインのピクセルのギザギザを軽減できます。



# ぼかし(ガウス)の設定

ウィンドウ下部のスライダーでぼかし量を調整します。

- 数値が大きい → ぼかし強め
- 数値が小さい → ぼかし弱め

ラインのエッジが滑らかになりつつ、質感が失われない程度に調整します。

2400dpi の画像では 30~40 が目安です。



## ※ぼかし(ガウス)に関する重要な注意※

スキャン画像の品質によって、適切なぼかし(ガウス)の数値は変わります。

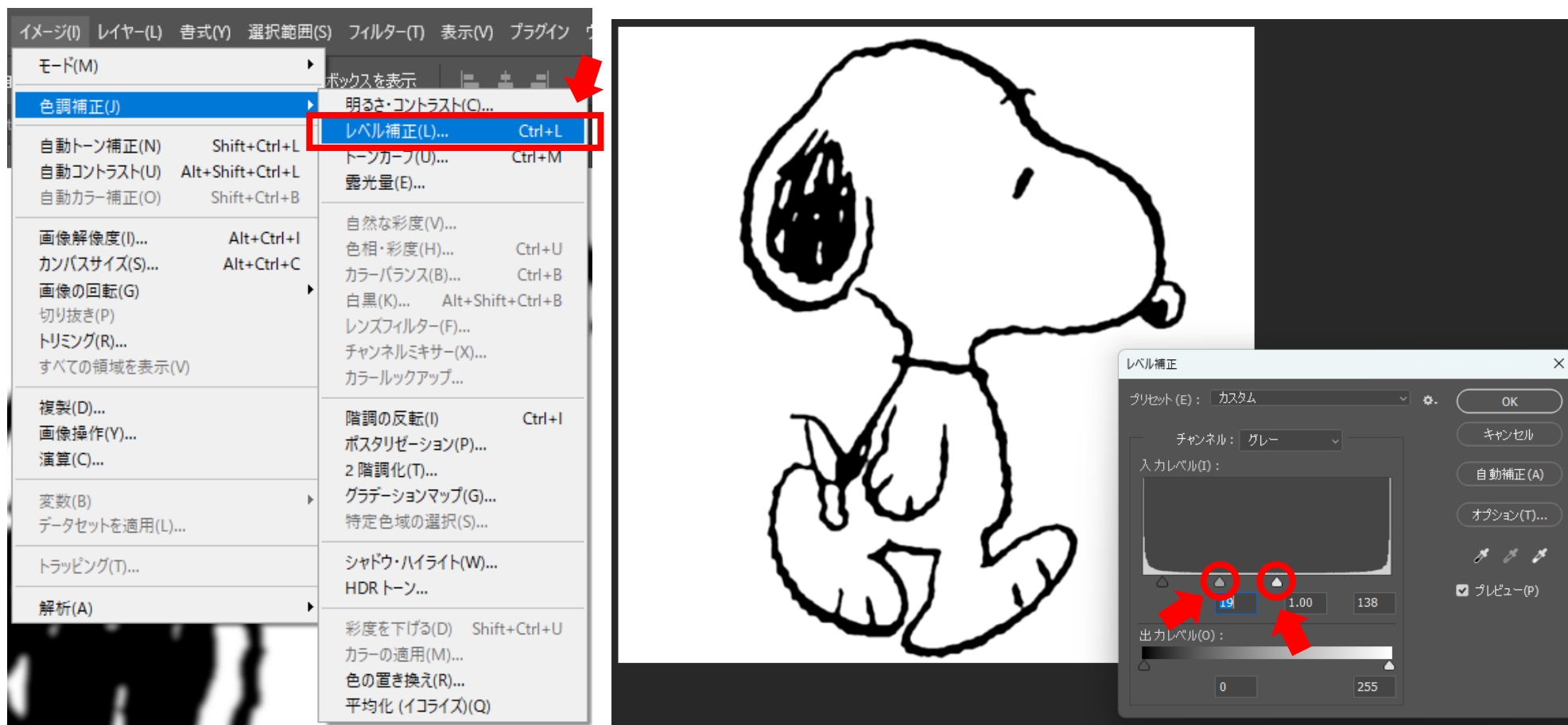
ラインが粗くピクセルが目立つスキャンの場合は、より強いぼかし（大きい数値）が必要になります。

逆に高解像度で滑らかなラインの原稿であれば、ぼかしの数値は小さくて済みます。

# レベル補正で線画を引き締める

レベル補正ウィンドウのスライダーを中央方向へ寄せていき、ぼやけを取り除き、灰色のピクセルを消していきます。目的は柔らかくにじんだラインを、よりくっきりとしたエッジのあるラインに変えることです。

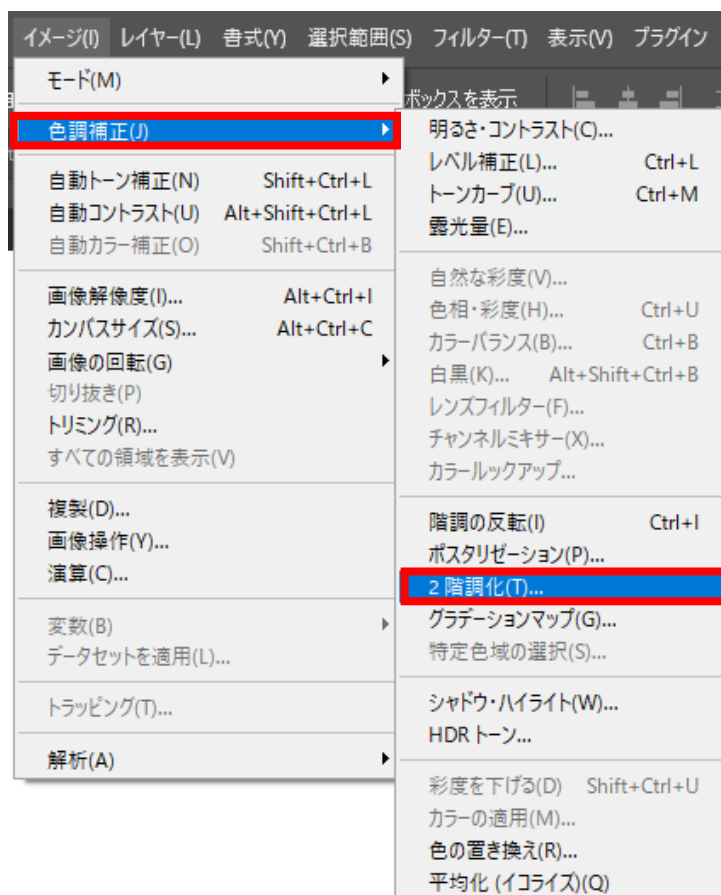
黒と白の形の変化をよく観察し、**細いラインの表現や小さな隙間が失われすぎないように注意しながら調整します。**



# 2階調化を行う

イメージ > 色調補正 > 2階調化を選択します。

- レベル : 128



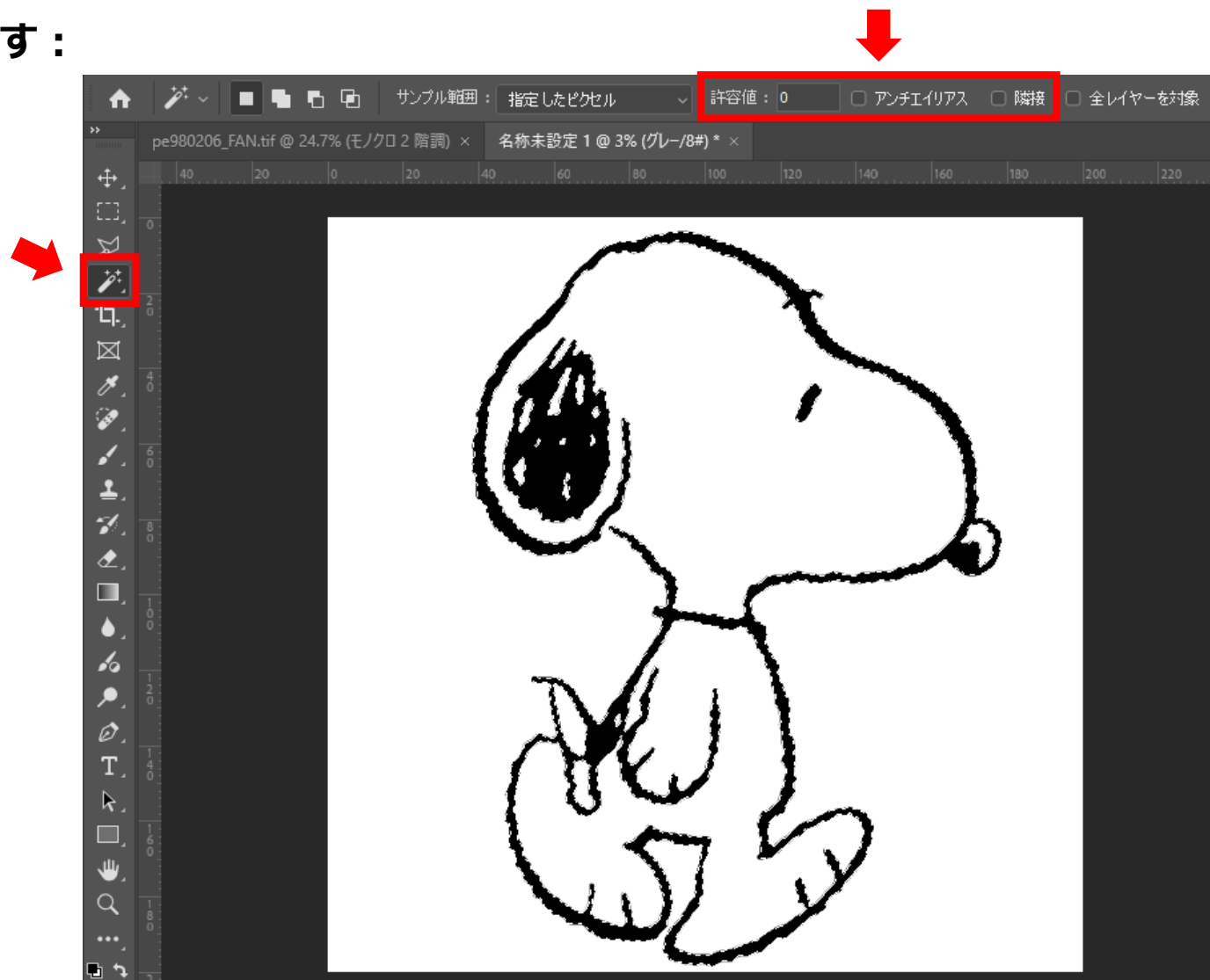
# 黒い線画を選択する

CONFIDENTIAL

自動選択ツールを使用し、以下の設定にします：

- 許容値：0
- アンチエイリアス：オフ
- 隣接：オフ

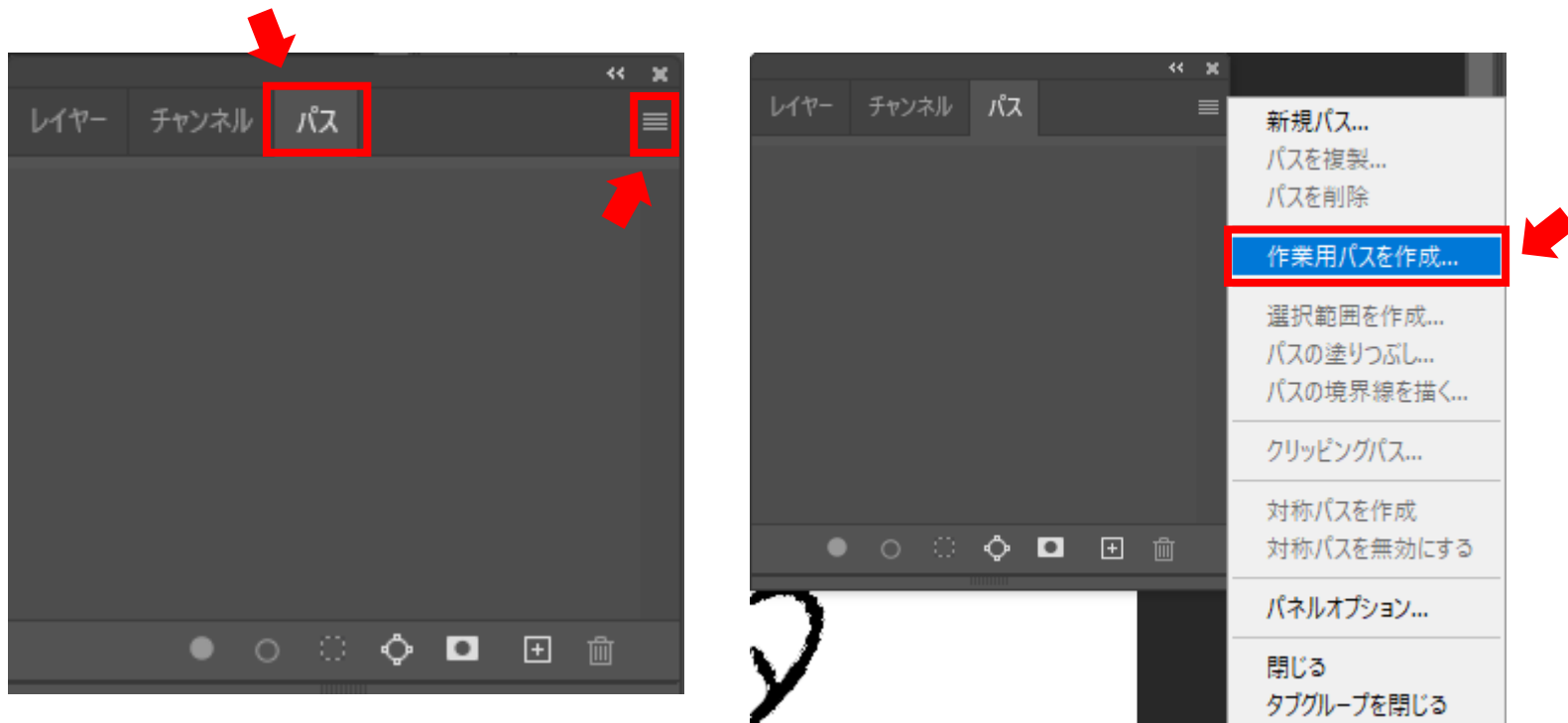
黒い線画部分を選択します。



# 黒い線画から作業用パスを作成する

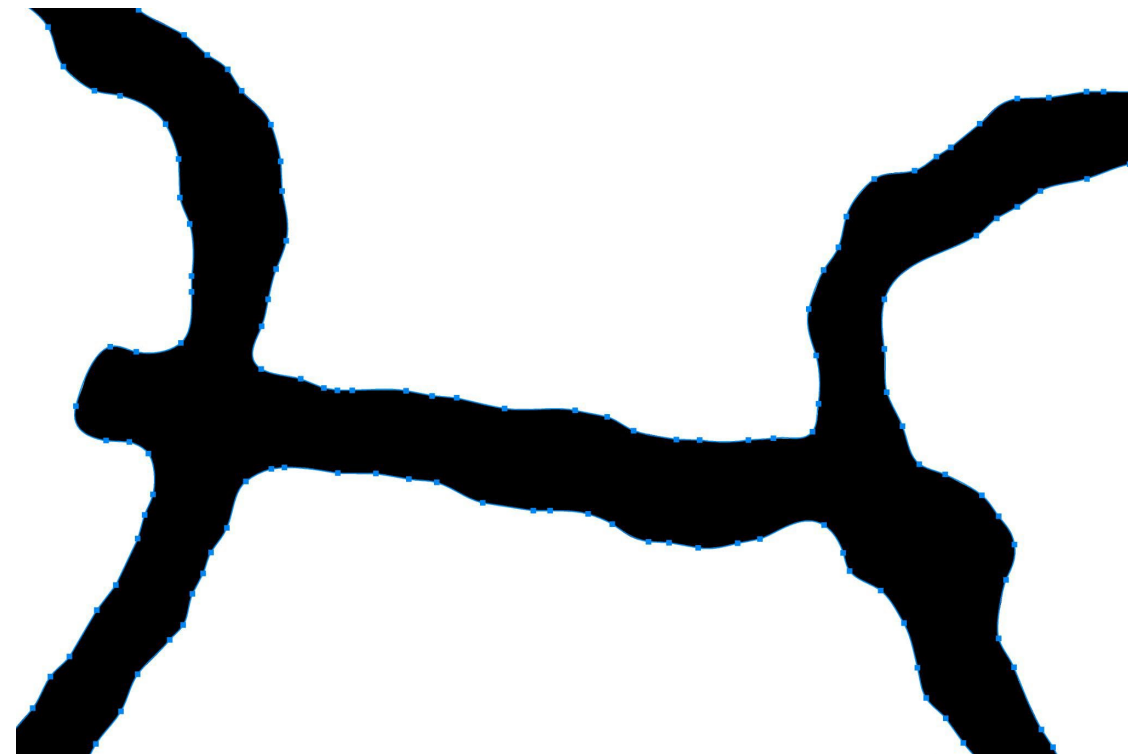
CONFIDENTIAL

パスパネル右上のメニューから、「作業用パスを作成」を選択します。



# 黒い線画から作業用パスを作成する

CONFIDENTIAL



ポップアップで許容値を入力します：

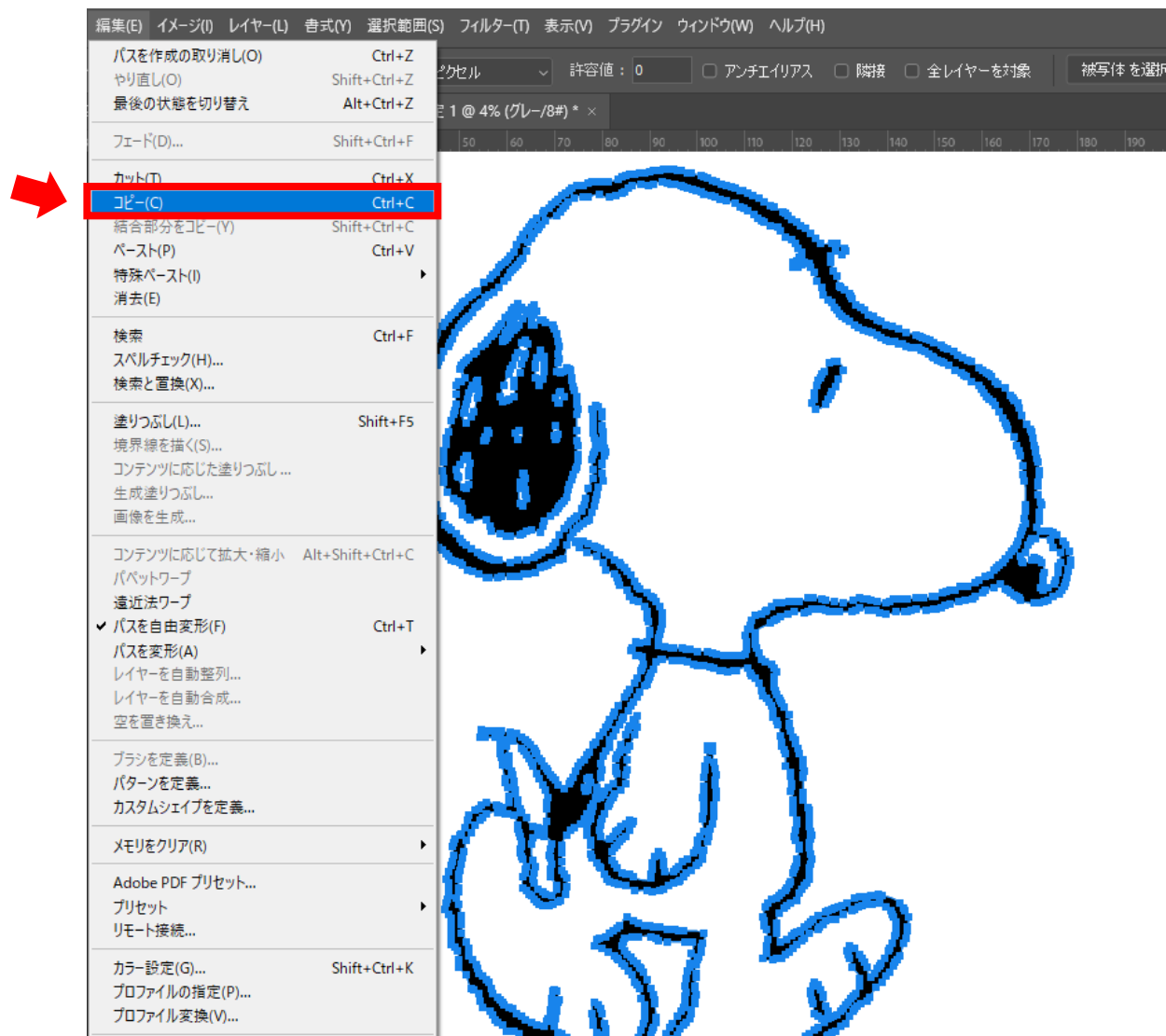
- 低い値（最小 0.5） → 線をより忠実に再現
- 高い値 → 線が簡略化される

シュルツ作品では 2 前後が適しています。

「OK」を選択します。線画の周りに作業パスが表示されます。

# 線画パスをコピーする

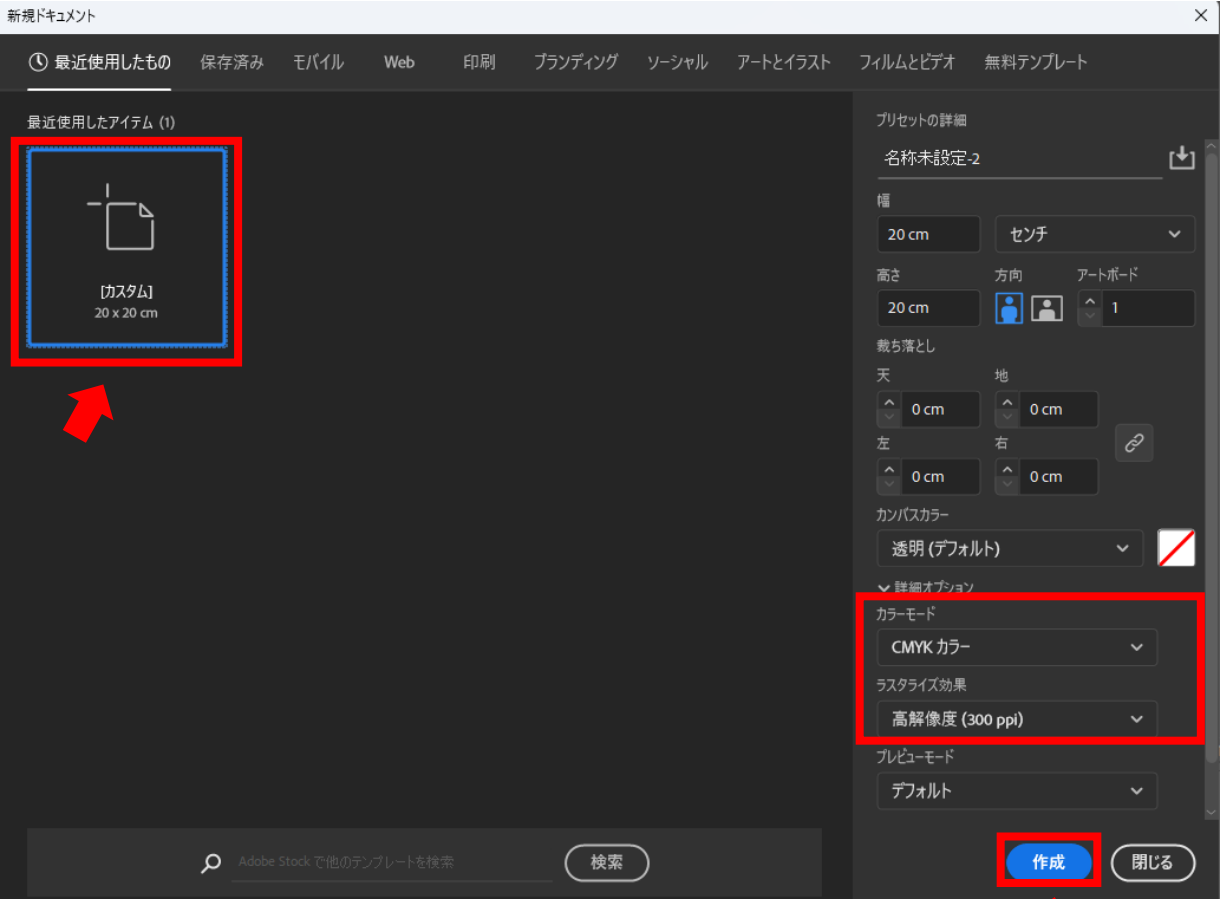
CONFIDENTIAL



# Illustrator を開き、 20x20cmの新規ファイルを作成

Illustrator で新規ドキュメントを作成します :

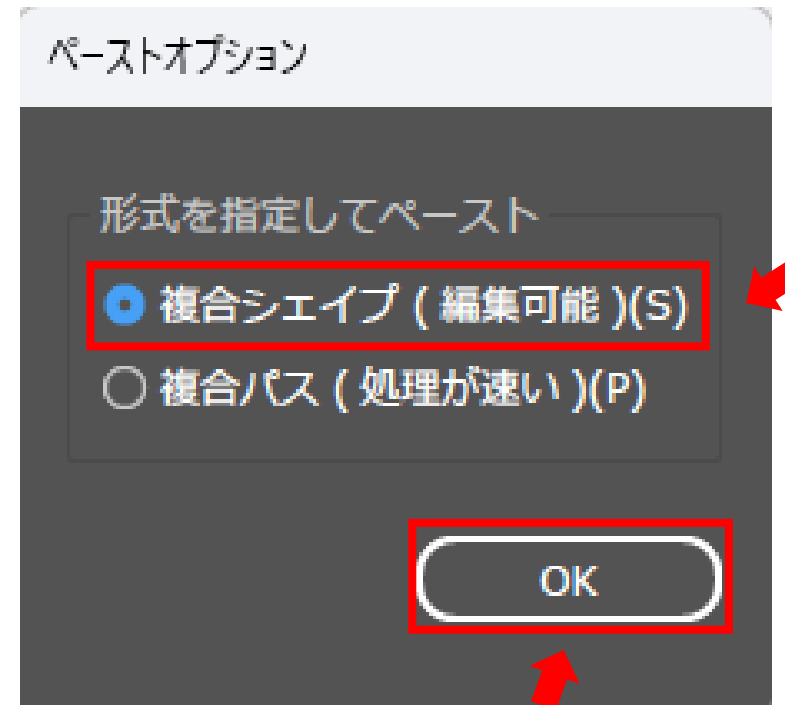
- サイズ : 20 × 20cm
- カラーモード : CMYK
- ラスタライズ効果 : 300ppi



# 線画パスを Illustrator に貼り付ける

CONFIDENTIAL

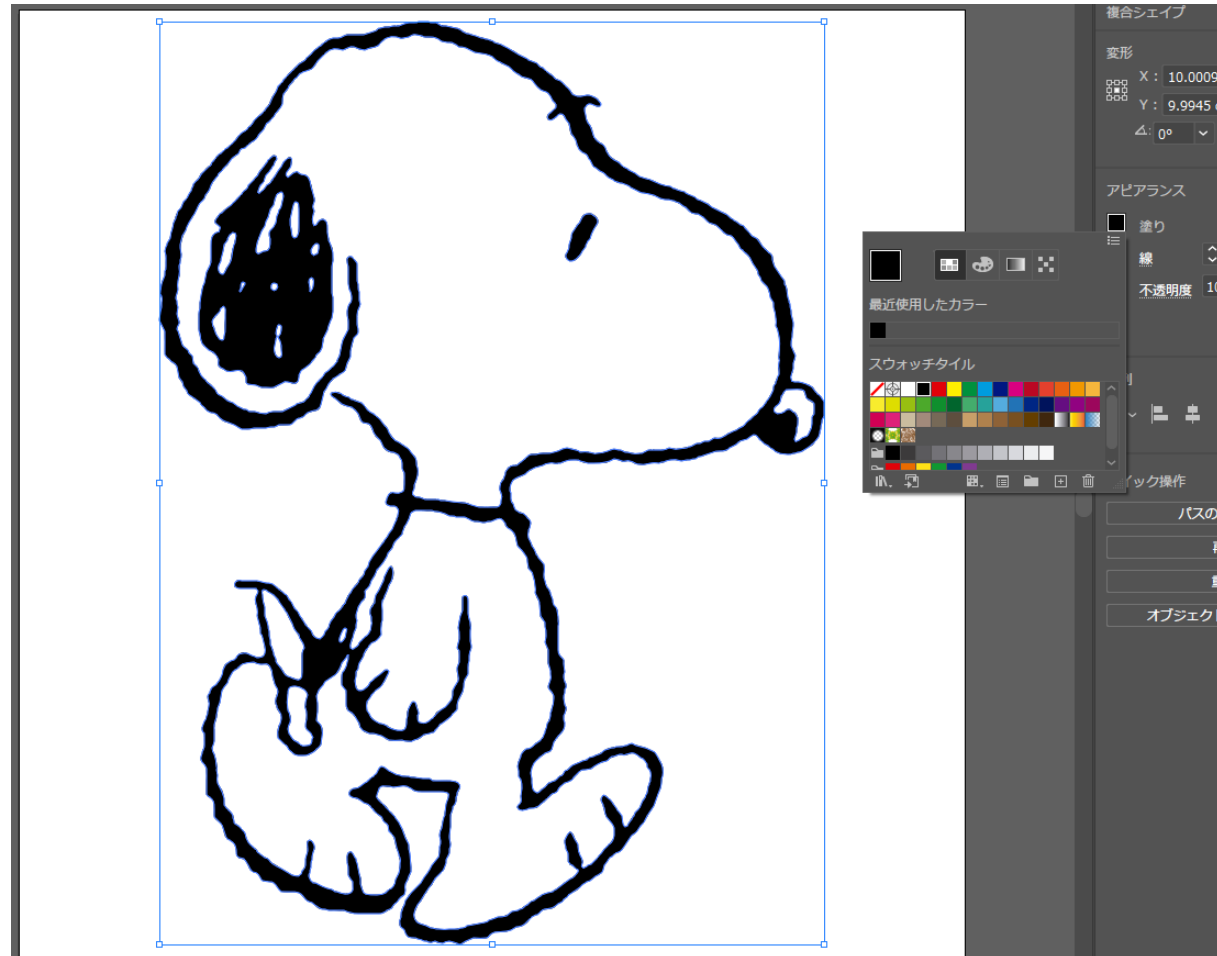
貼り付けオプションで「複合シェイプ (編集可能)」を選択します。



# 塗りを黒に設定する

CONFIDENTIAL

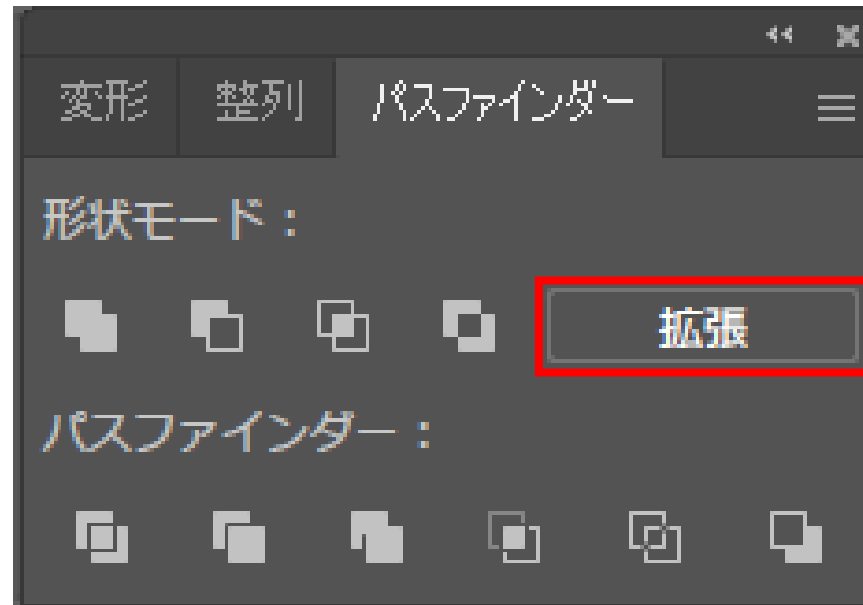
塗りを黒に設定し、白背景上で線画が見えるようにします。



# パスファインダーで複合シェイプを展開する

CONFIDENTIAL

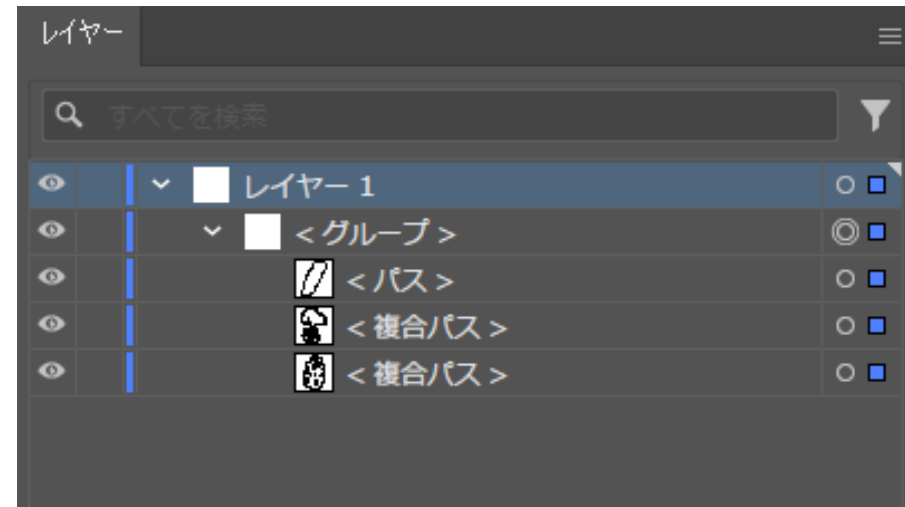
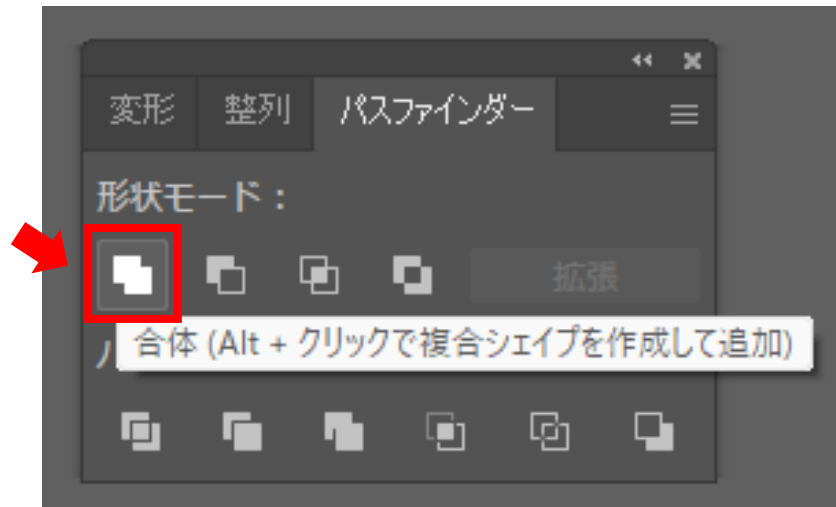
パスファインダーウィンドウで「拡張」を選択します。



# パスファインダーで「合体」を実行

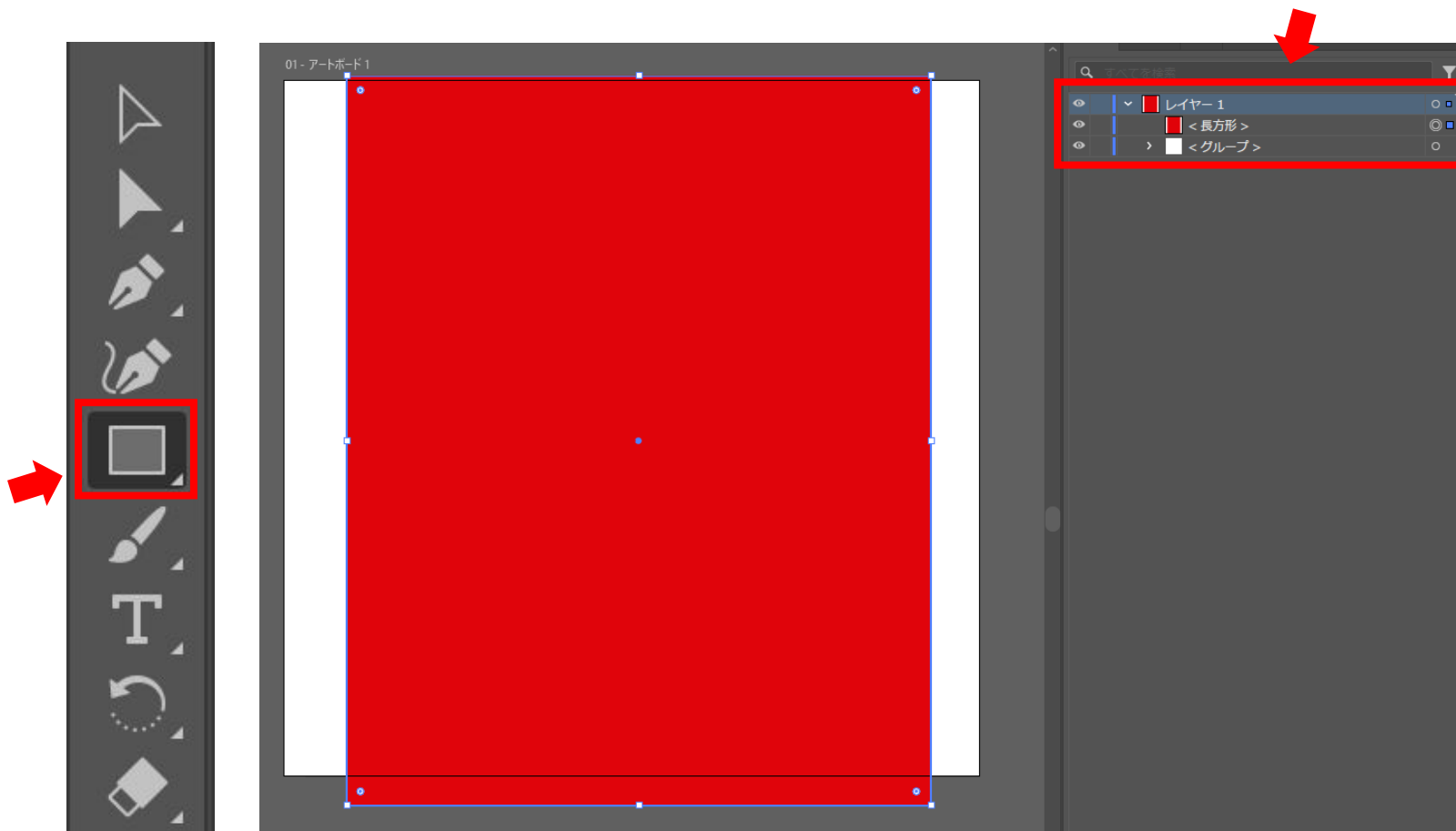
CONFIDENTIAL

パスファインダー「合体」を実行、線画の必要なパスが生成されます。  
レイヤーパネルでグループを展開し、線画を確認できます。



# 明るい色の長方形を作成する

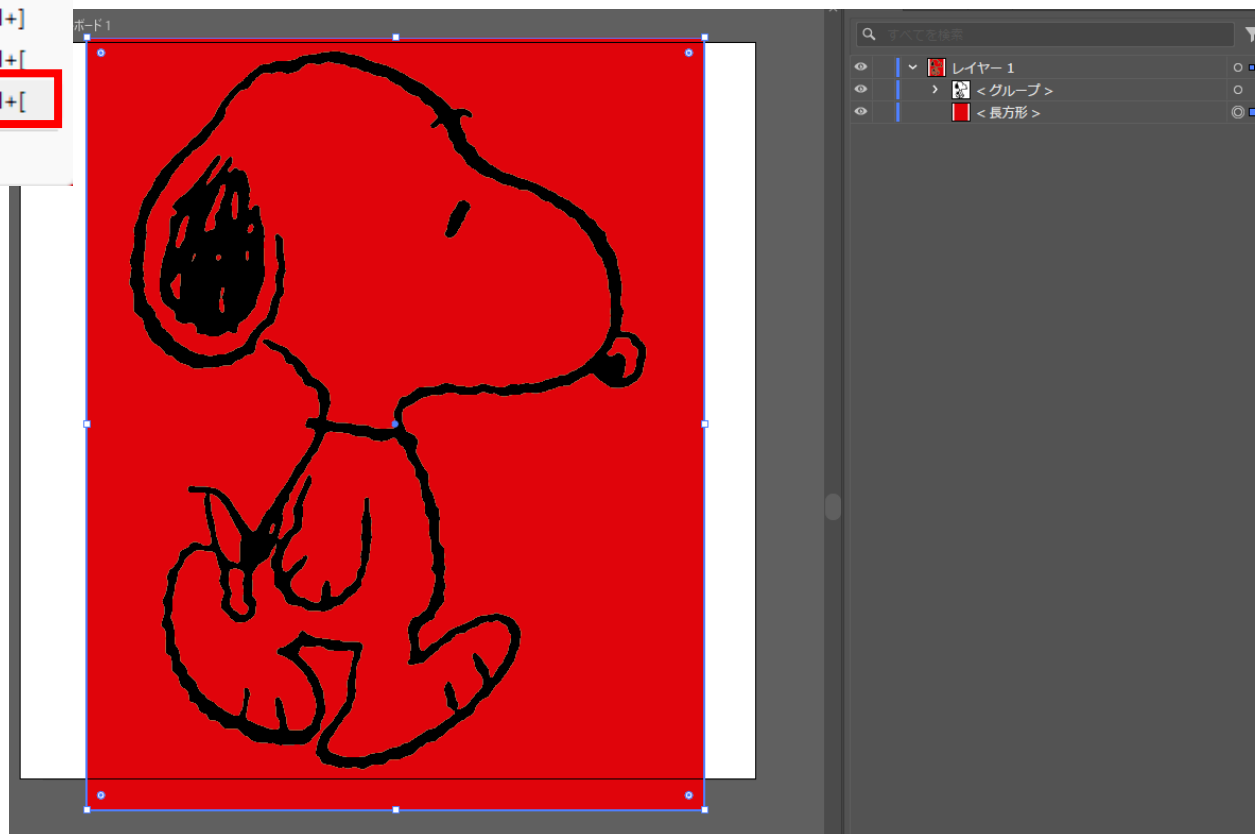
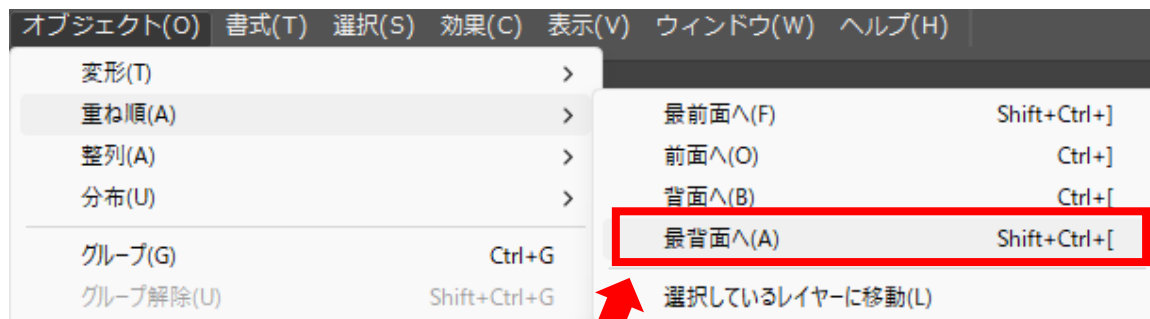
長方形ツールで、線画の上に明るい色の長方形を作成します。  
これは後で内部の色ブロックを切り抜くために使用します。



※長方形は線画のグループとは別のサブレイヤーになるようにします。

# 長方形を背面に移動する

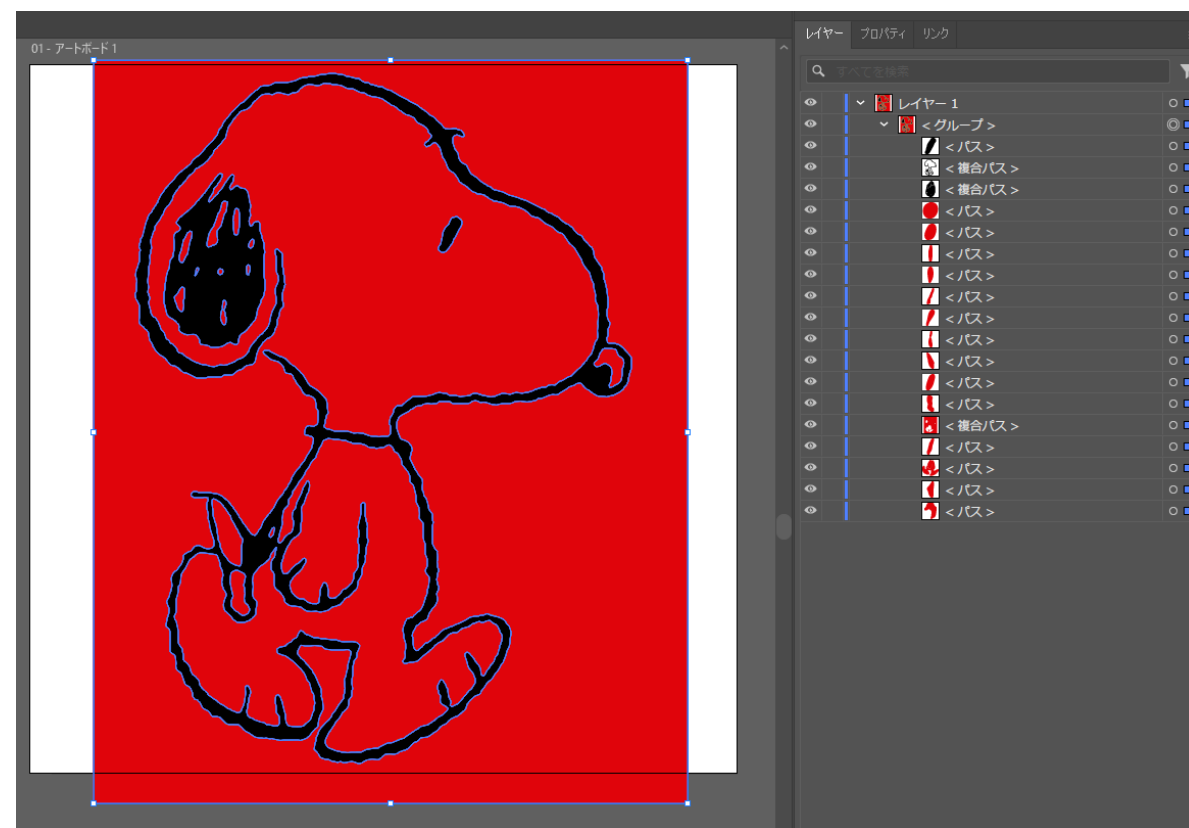
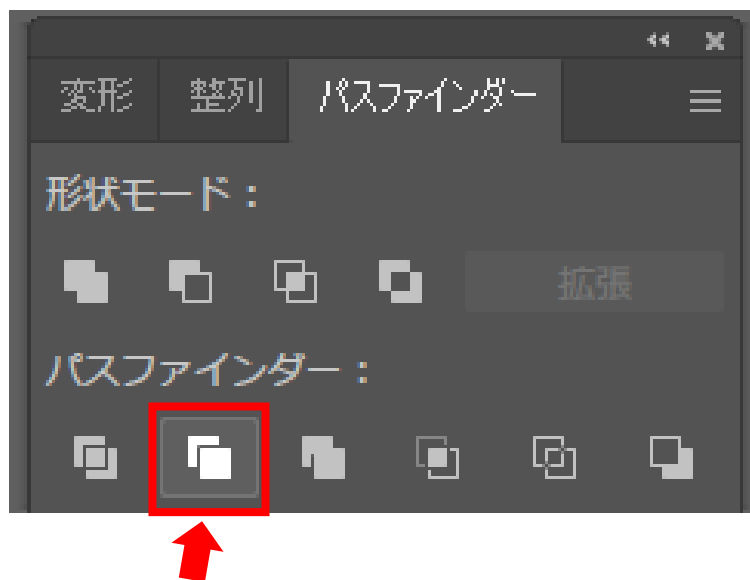
オブジェクトのドロップダウンメニューで、「配置」>「最背面へ」を選択します。  
これで赤い四角形がすべての線画の背面に配置されます。



# 刈り込みを使って 内側のカラーブロックを切り出す

一番上の線画レイヤーと赤い長方形を選択した状態で、パスファインダーウィンドウの刈り込みをクリックします。

これで、内側のカラーブロックが切り取られます。  
グループを開いて、すべての図形を確認します。

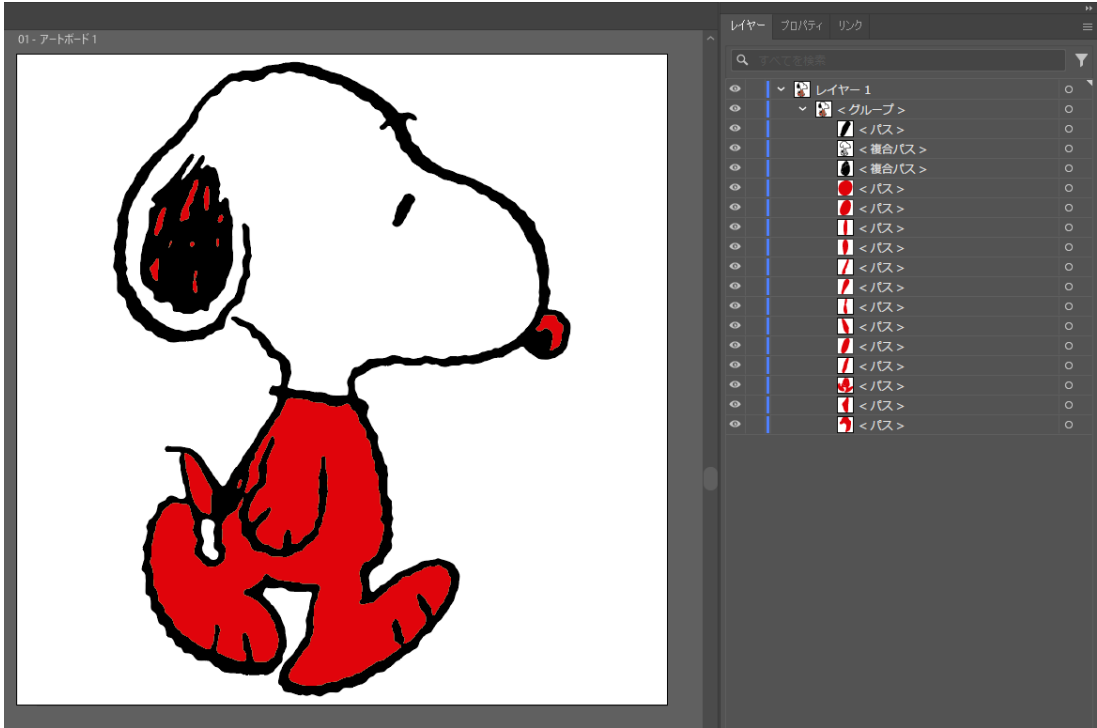
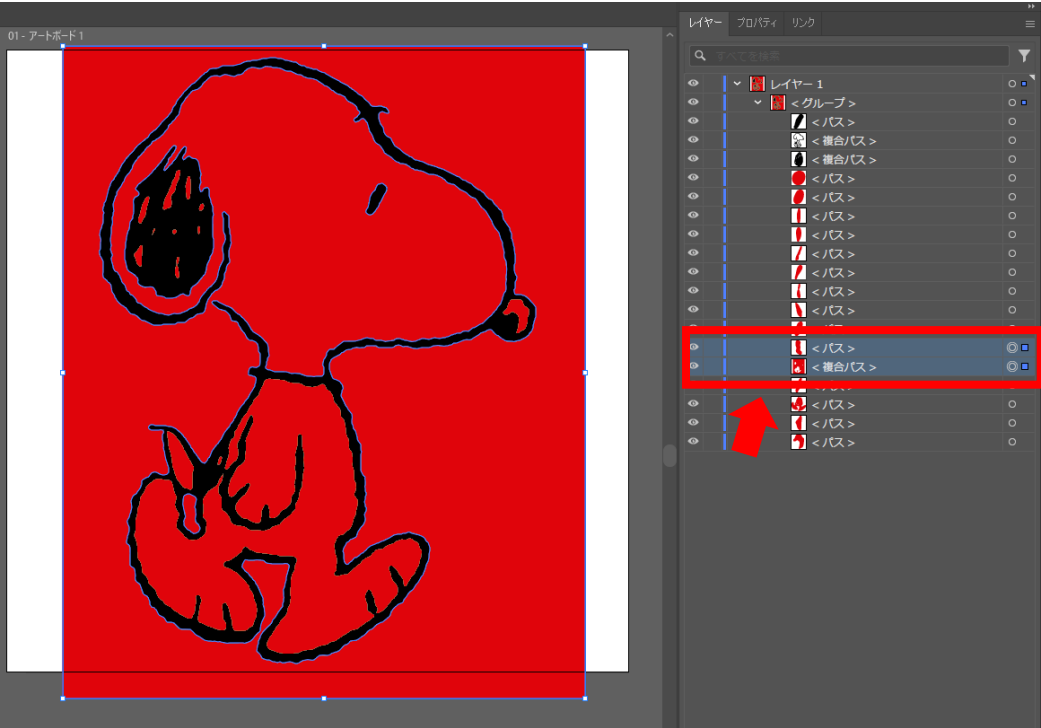


# 背景シェイプを削除する

背景の図形を特定し、削除して、内部の図形だけを残します。

ここでは、大きな長方形の背景の図形と、スヌーピーの尻尾と足の間の図形を削除します。

このエリアは余白となります。

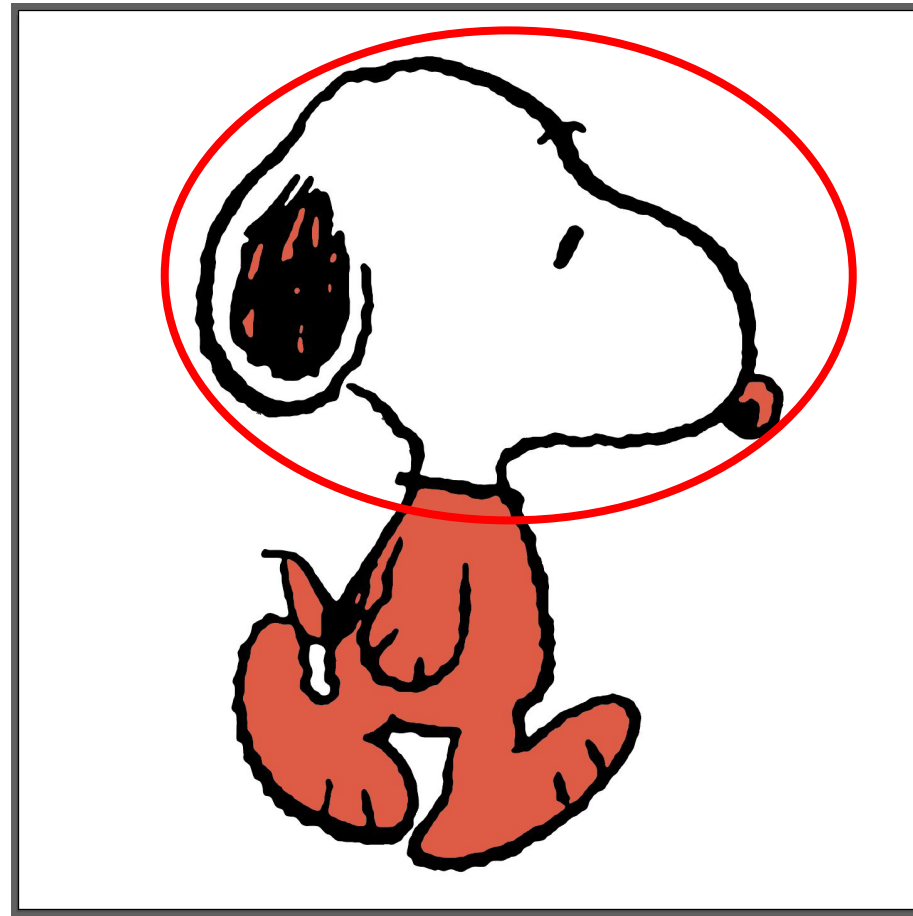


# スヌーピーの頭部内部にシェイプを作成する

CONFIDENTIAL

次に、線画が繋がっていない部分にカスタムシェイプを作成します。

ここでは、スヌーピーの頭が塗りつぶされていません。首の後ろの線が耳につながっていないためです。



# アウトラインモードに切り替える

CONFIDENTIAL

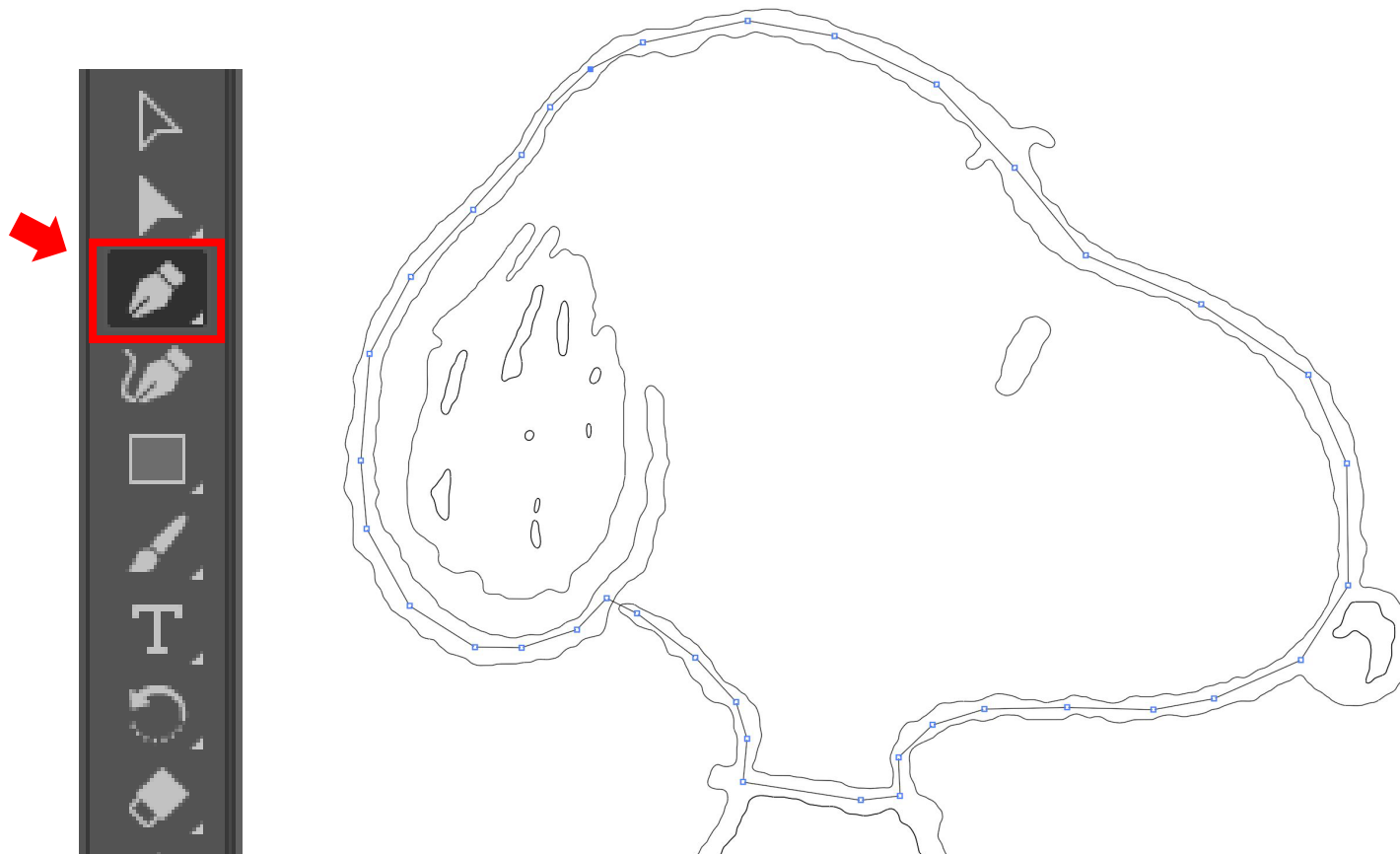
表示 > アウトライン を選択し、形状を確認します。



# ペンツールで内部シェイプを描く

ペンツールは、クリックした各ポイントから線分を作成します。アウトライン内のシェイプをなぞり、スヌーピーの頭のアウトライン内にシェイプを作成します。

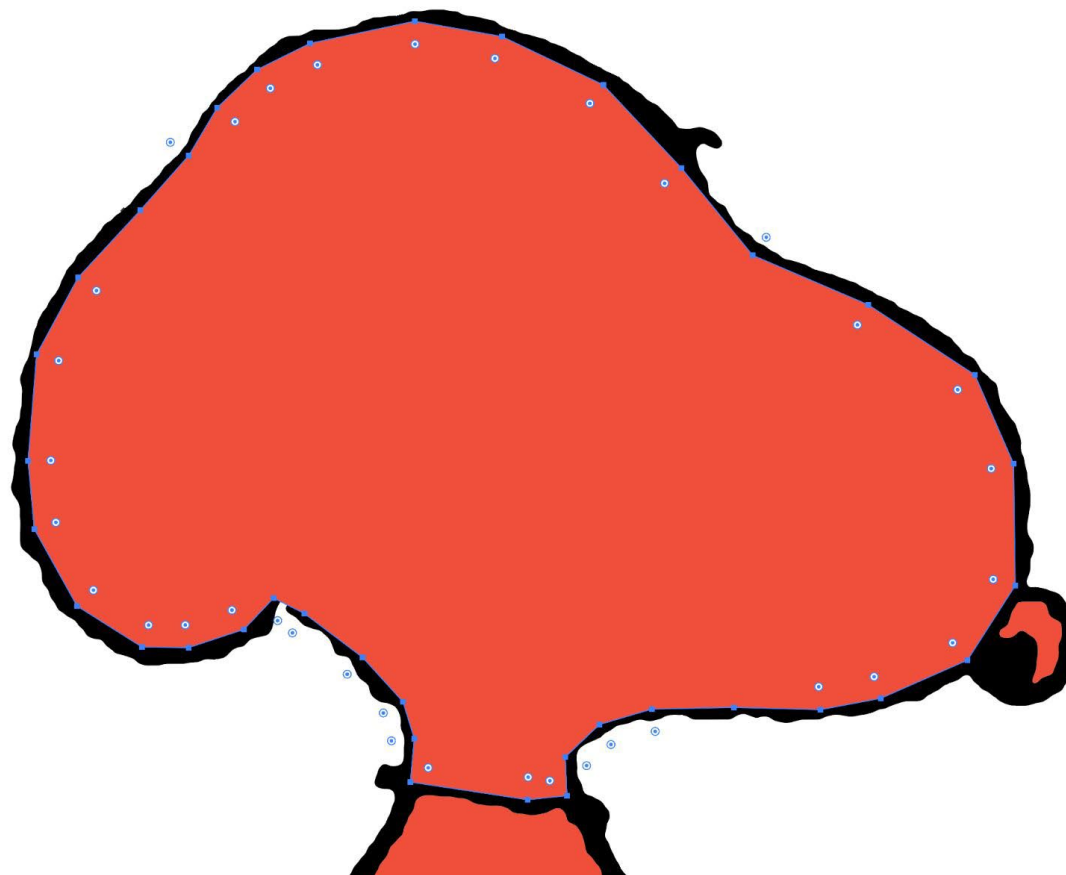
最後のセグメントに到達したら、元の開始点をクリックしてパスを閉じます。



# プレビューモードに戻る

「表示」ドロップダウンで「プレビュー(もしくは『CPUでプレビュー』)」を選択して切り替えます。新しい図形が線画の上に配置されていることに注目してください。

次のページの手順に従って、この図形が黒い線画の内側にぴったり収まるよう微調整していきます。



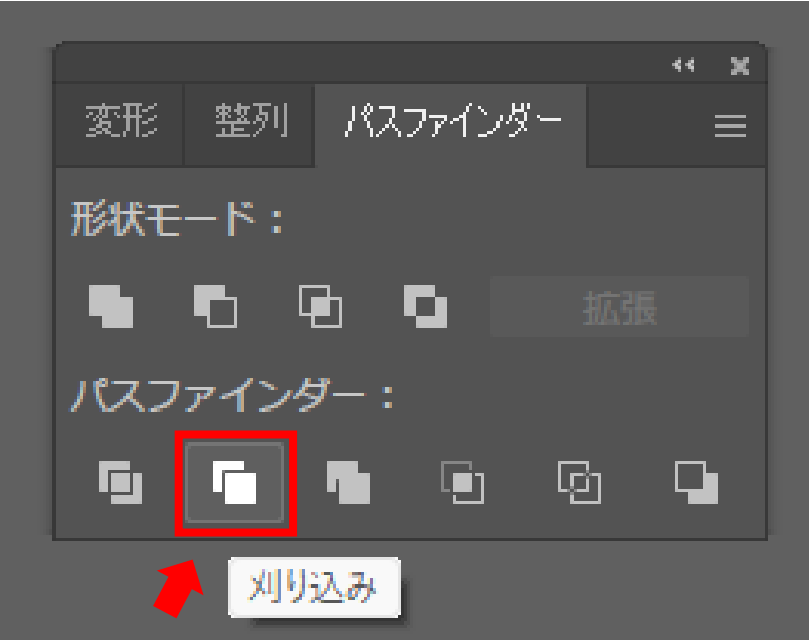
# 新しいシェイプを最背面に移動する

オブジェクトのドロップダウンメニューで、「配置」>「最背面へ」を選択します。  
これで、新しいシェイプが他のすべてのレイヤーの背面に配置されます。



# シェイプをトリムする

新しい塗りつぶしシェイプと線画の両方を選択し、  
パスファインダーウィンドウの刈り込みを使ってシェイプをトリミングします。



# 新しいレイヤーを再グループ化する

オブジェクト > グループ解除 を選択し、  
色塗りシェイプと線画シェイプを整理して別レイヤーにまとめます。

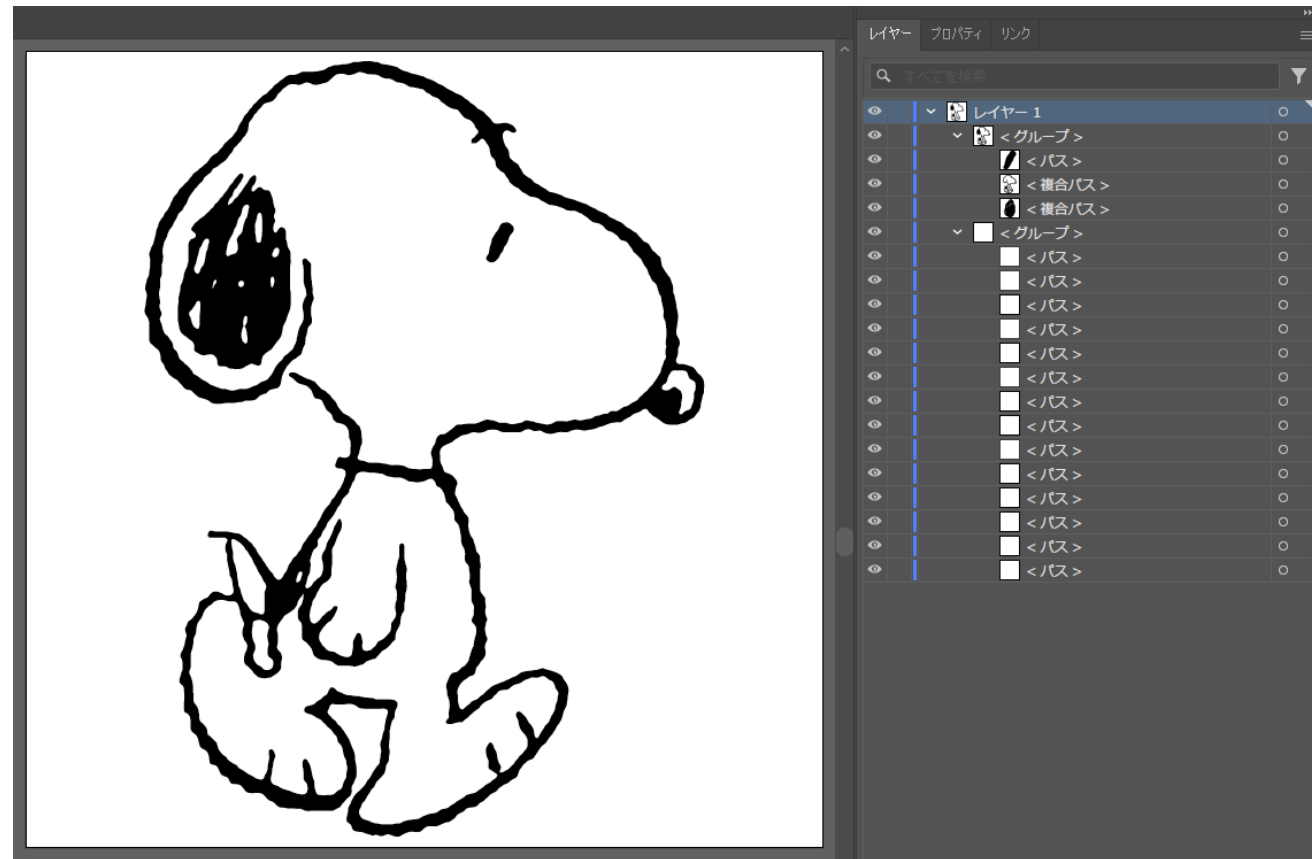
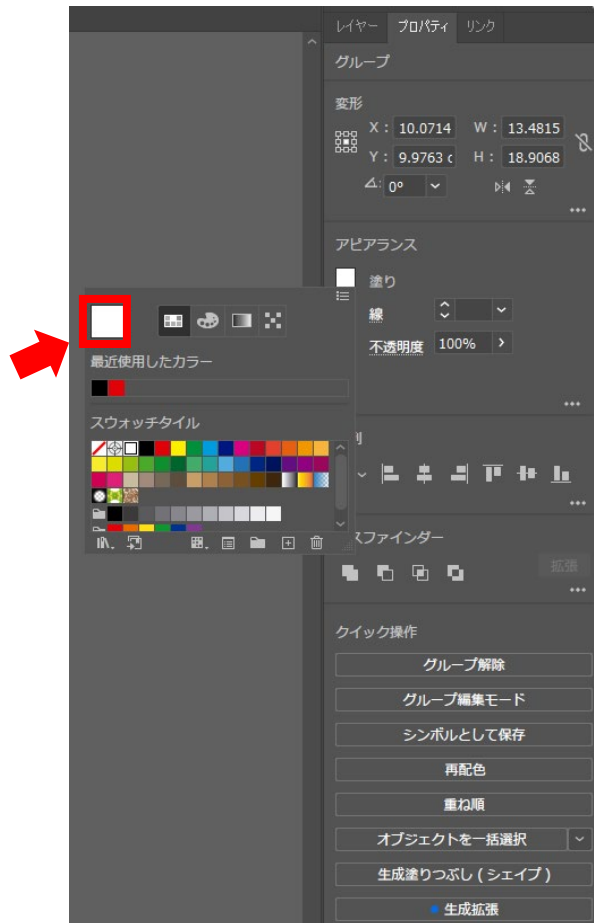


# プロパティの「塗り」でポーズに色を付ける

CONFIDENTIAL

各シェイプを選択し、適切な色を設定します。

スヌーピーの内部は白で塗ります。



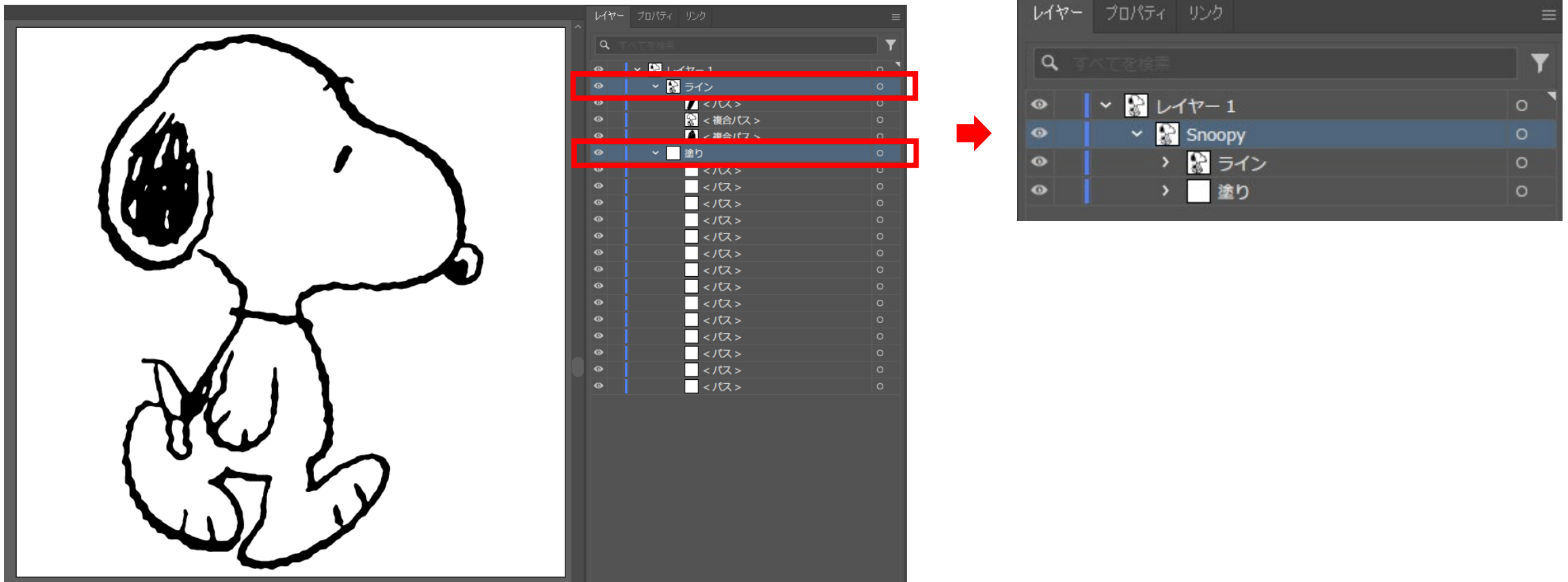
# レイヤーをグループ化し、名前を付けて仕上げる

CONFIDENTIAL

レイヤーをダブルクリックして名前を変更します。

後で簡単に編集できるように、塗りつぶしレイヤーと線画レイヤーにグループ化します。

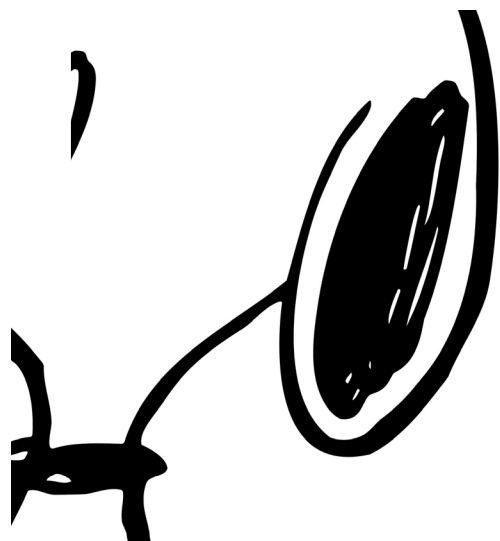
新しくベクター化したポーズをEPSファイルとして保存します。



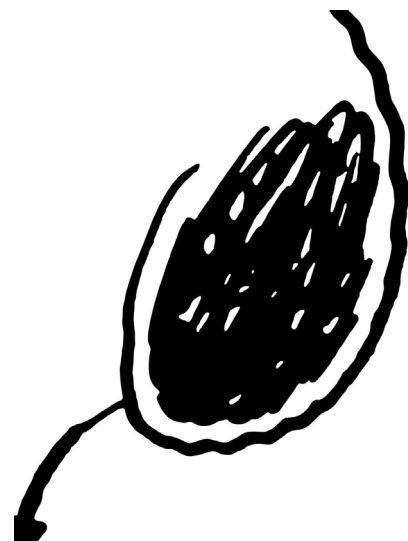
# シュルツラインクオリティの例

シュルツの線画は、正しくベクター化された場合、インクの質感が緩やかになり、年月とともに不安定になります。私たちはオリジナルの質感と動きを保ちつつ、過度に凹凸や尖りが出ないラインクオリティを目指しています。トレースするオリジナルに従って、適宜ご調整をお願いいたします。

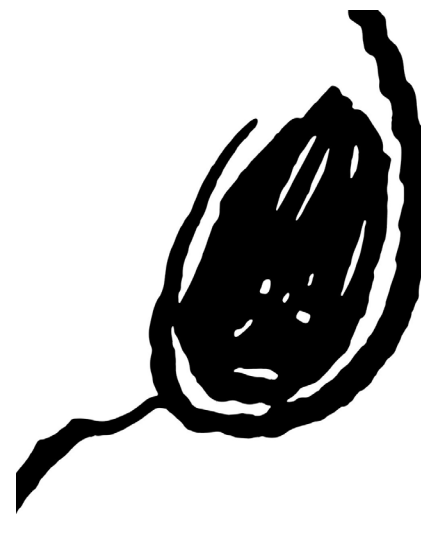
以下は、数十年にわたる正しいラインクオリティの例です。



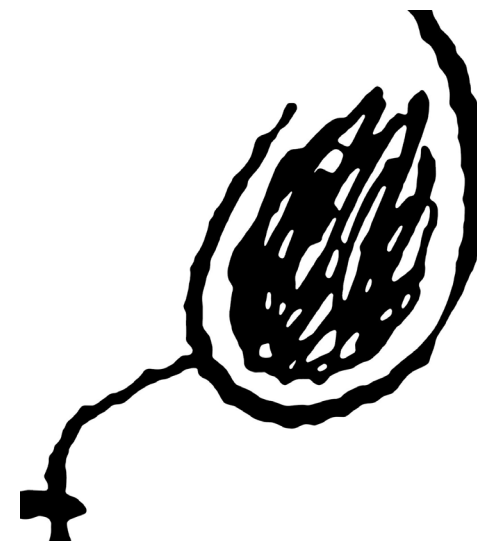
1960s



1970s



1980s



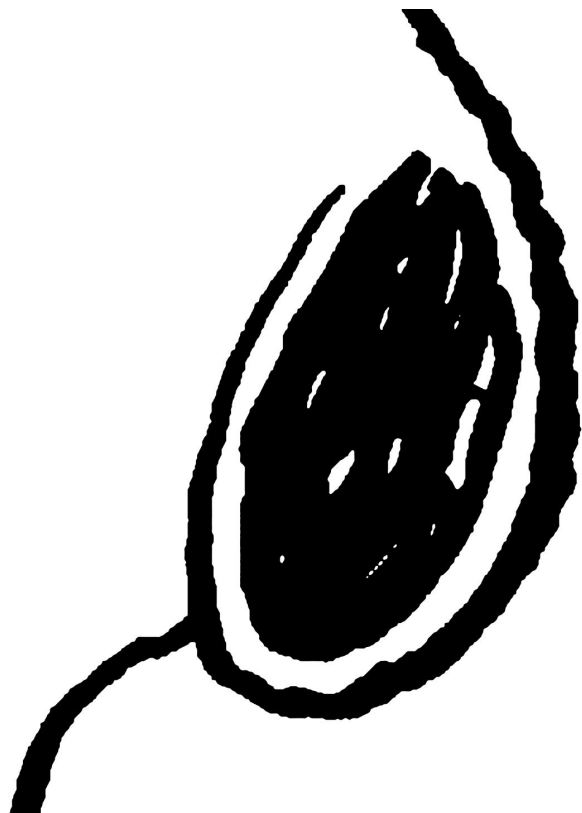
1990s

# ラインクオリティの例

CONFIDENTIAL

誤り × :

この線画はぼかしが不十分で (9ページ参照)  
ピクセルが粗い線になっています。



正解 ○ :

目指すべきラインクオリティの例

